



石像・石碑・記念碑。1927年からの手仕事。

第二の柱を、 どう創るか



料理人の器へ、工芸店の店頭へ、ミラノへ。

2026 ものづくりデザインプラットフォーム講演会 産学連携・異分野連携で、 既存事業の枠を越える

2026.12.4(金)14:00 - 17:00

参加無料 定員 30 名

会場 NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE 名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク4F

既存事業の延長だけでは、次の成長は描きにくい。
だからこそ、自社の技術や素材を、異分野の視点で捉え直すことが新たな一歩になります。
本講演会では、既存事業の枠を越えて挑戦した企業の事例と参加者同士の対話を通じて、
「自社の強みを、次の事業にどう変えるか」を考えます。

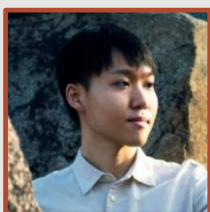
講演

石材店はなぜ“石の器”をつくり
ミラノまで飛び出したのか

講師

稲垣 遼太氏

稲垣石材店 4代目 / SEKIRYO 代表



ディスカッション



あなたの会社の“当たり前”
他社から見ると宝かもしれない
ファシリテーター
岡田 心氏

大同大学 情報学部 情報デザイン学科 教授

講演

テーマ

石材店はなぜ“石の器”をつくり、ミラノまで飛び出したのか

墓石や石灯籠を手がけてきた岡崎の石材店が、料理人やデザイナーなど異分野の人々との出会いをきっかけに、石の器「INASE」を開発し、工芸ブランドでの取扱いやミラノでの展示へと、新たな市場を切り拓いていきました。

本講演では、新規事業に挑戦した背景や製品化までの試行錯誤、既存事業との両立に加え、自社では“当たり前”だった技術や素材が、外部の視点によって新たな価値へと変わっていったプロセスをご紹介します。

「今ある技術や強みを、別の分野で活かさないか」「新しい事業の柱をつくりたい」と考える企業みなさまに、異分野連携から新たな可能性を見つけるヒントをお届けします。

講師 稲垣 遼太 氏 （有限会社稲垣石材店 4代目／合同会社SEKIRYO 代表）



ディスカッション

テーマ

あなたの会社の“当たり前”、他社から見ると宝かもしれない

自社では“当たり前”になっている技術や素材も、異なる業種・専門性を持つ人の目を通すと、新たな価値や可能性が見えてきます。

講演で紹介された事例をヒントに、参加者同士で「自社の強みは、他分野でどう活かせるか」「誰と組めば新しい展開が生まれるか」を考えます。ディスカッションを通じて生まれた気づきやアイデアを共有し、産学連携など「次の一歩」につながる出会いを目指します。

ファシリテーター 岡田 心 氏 （大同大学 情報学部 情報デザイン学科 教授）



昨年（2025年）の講演会の様子

スケジュール

- 13:45 開場・受付
- 14:00 開会あいさつ
- 14:10 講演
「石材店はなぜ“石の器”をつくり、ミラノまで飛び出したのか」
- 15:00 休憩
- 15:05 ディスカッション
「あなたの会社の“当たり前”、他社から見ると宝かもしれない。」
- 16:25 共同研究・事業化に向けた支援制度の紹介
- 16:30 交流会
- 17:00 終了

この講演会で得られること

- 一 新事業を立ち上げるヒント
既存事業を抱えながら新規事業に踏み出した、実際の手順と試行錯誤をご紹介します。
- 二 産学連携という選択肢
大学・研究機関との連携を、具体的な打ち手としてご紹介します。
- 三 次の共創相手との出会い
自社の課題やアイデアを共有し、新たな連携先や共創の可能性を探ります。

お問合せ （公財）名古屋産業振興公社 研究推進部
〒463-0018 名古屋市中山区桜坂五丁目301番地
Tel：052-736-5680 Mail：product-d@nipc.or.jp
担当：土井・中尾

二次元コードを読み取り、
フォームからお申込みください

<https://forms.gle/pagwr4wJWhrfe2o76>

お申込み締切 11月27日（金）

